

国立大学法人信州大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行		変 更 案		変 更 理 由
【中期目標】 別表1(学部、研究科等)		【中期目標】 別表1(学部、研究科等)		別表1の3つの研究科について、次年度（平成29年度）の収容定員が0人となることから、削除する。
学 部	(省略)	学 部	(省略)	
研 究 科	人文科学研究科 教育学研究科 経済・社会政策科学研究科 医学系研究科 <u>理工学系研究科 (H28募集停止)</u> <u>農学研究科 (H28募集停止)</u> 総合理工学研究科 総合工学系研究科 <u>法曹法務研究科 (H27募集停止)</u>	研 究 科	人文科学研究科 教育学研究科 経済・社会政策科学研究科 医学系研究科 <u>(削除)</u> <u>(削除)</u> 総合理工学研究科 総合工学系研究科 <u>(削除)</u>	

国立大学法人信州大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>【中期計画】</p> <p>【17-1】</p> <p>特別招へい教授制度を引き続き活用し，外国人研究者を積極的に登用する。また，テニユアトラック制度等を維持・活用し，若手研究者を登用するとともに，国立大学改革強化推進補助金で登用した若手研究者 9 名を承継教員化する。</p>	<p>【中期計画】</p> <p>【17-1】</p> <p>特別招へい教授制度を引き続き活用し，外国人研究者を積極的に登用する。また，テニユアトラック制度等を維持・活用し，若手研究者を登用するとともに，<u>40歳未満の優秀な若手教員の活躍の場を全学的に拡大し，教育研究を活性化するため，国立大学改革強化推進補助金で登用した若手研究者 9 名を承継教員化し，退職金に係る運営費交付金の積算対象となる教員における若手教員の比率を26%以上となるよう促進する。</u></p>	<p>「国立大学改革強化推進補助金（特定支援型）」取組に伴う中期計画の変更</p>

国立大学法人信州大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>【中期計画】 VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1. 重要な財産を譲渡する計画 ・ 蓼科高原研究所の土地及び建物(長野県茅野市北山字南山栗平ヨリ三室大萱迄4035番地1139外1筆)を譲渡する。 ・ 松本キャンパスの土地の一部(長野県松本市旭3丁目696番1233.65㎡)を譲渡する。 ・ 蟻ヶ崎東宿舎の土地(長野県松本市蟻ヶ崎2丁目341番地)を譲渡する。</p> <p>2. 重要な財産を担保に供する計画 (省略)</p>	<p>【中期計画】 VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1. 重要な財産を譲渡する計画 ・ 蓼科高原研究所の土地及び建物(長野県茅野市北山字南山栗平ヨリ三室大萱迄4035番地1139外1筆 <u>3,475㎡</u>)を譲渡する。 ・ 松本キャンパスの土地の一部(長野県松本市旭3丁目696番1233.65㎡)を譲渡する。 ・ 蟻ヶ崎東宿舎の土地(長野県松本市蟻ヶ崎2丁目341番地 <u>666.16㎡</u>)を譲渡する。 ・ 桐宿舎の土地(長野県松本市桐1丁目1-8 <u>629.55㎡</u>)を譲渡する。</p> <p>2. 重要な財産を担保に供する計画 (省略)</p>	<p>保有資産の見直しをしたところ、当該土地は、松本キャンパスから離れた狭隘な土地であり、今後有効活用できる見込がなく、教育研究上支障もないことから譲渡を決定したため。</p>

国立大学法人信州大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
【中期計画】 別表(収容定員)		【中期計画】 別表(収容定員)		別表の3つの研究科について、中期目標の別表1から削除したことに合わせ、削除する。
学部	(省略)	学部	(省略)	
研究科	人文科学研究科	20人	人文科学研究科	20人
		(うち修士課程 20人)		(うち修士課程 20人)
	教育学研究科	80人	教育学研究科	80人
		{ うち修士課程 40人 }		{ うち修士課程 40人 }
		専門職学位課程 40人		専門職学位課程 40人
	経済・社会政策科学研究科	32人	経済・社会政策科学研究科	32人
		(うち修士課程 32人)		(うち修士課程 32人)
	医学系研究科	256人	医学系研究科	256人
		{ うち修士課程 52人 }		{ うち修士課程 52人 }
		博士課程 204人		博士課程 204人
	<u>理工学系研究科(H28募集停止)</u>	0人	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>
		(うち修士課程 0人)		(削除)
<u>農学研究科(H28募集停止)</u>	0人	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	
	(うち修士課程 0人)		(削除)	
総合理工学研究科	1,150人	総合理工学研究科	1,150人	
	(うち修士課程 1,150人)		(うち修士課程 1,150人)	
総合工学系研究科	147人	総合工学系研究科	147人	
	(うち博士課程 147人)		(うち博士課程 147人)	
<u>法曹法務研究科(H27募集停止)</u>	0人	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	
	(うち専門職学位課程 0人)		(削除)	

国立大学法人信州大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行		変 更 案		変 更 理 由
【中期目標】 別表1(学部、研究科等)		【中期目標】 別表1(学部、研究科等)		平成30年度に総合工学系研究科で募集を停止し、また総合医理工学研究科を設置するため。
学 部	(省略)	学 部	(省略)	
研 究 科	人文科学研究科 教育学研究科 経済・社会政策科学研究科 医学系研究科 総合理工学研究科 <u>総合工学系研究科</u>	研 究 科	人文科学研究科 教育学研究科 経済・社会政策科学研究科 医学系研究科 総合理工学研究科 <u>総合工学系研究科 (H30募集停止)</u> <u>総合医理工学研究科</u>	

国立大学法人信州大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行	変 更 案	変 更 理 由
<p>【中期目標】 別表2(教育関係共同利用拠点)</p> <p><u>中部高冷地域における農業教育共同利用拠点－高冷地野菜と畜産を組み合わせたフィールド教育－（農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター野辺山農場）</u></p> <p>南信州を舞台とした自然の成り立ちから山の生業までを学ぶ教育関係共同利用拠点（農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター演習林）</p>	<p>【中期目標】 別表2(教育関係共同利用拠点)</p> <p><u>中部高冷地域における農業・環境教育共同利用拠点－高冷地野菜、畜産と環境を組み合わせたフィールド教育－（信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター野辺山農場）</u></p> <p>南信州を舞台とした自然の成り立ちから山の生業までを学ぶ教育関係共同利用拠点（農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター演習林）</p>	<p>野辺山農場について、平成30年4月1日から平成35年3月31日の期間、教育関係共同利用拠点として認定を受けたため。</p>

国立大学法人信州大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
【中期計画】 別表（収容定員）		【中期計画】 別表（収容定員）		<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に行う医学部医学科の収容定員の増に伴う変更(平成31年度までの入学定員暫定増) 医学系研究科博士課程及び総合工学系研究科の募集停止 総合医理工学研究科の設置
学 部	人文学部 630人 教育学部 960人 (うち教員養成に係る分野 960人) 経済学部 (H28募集停止) 0人 経法学部 780人 理学部 828人 医学部 1,266人 (うち医師養成に係る分野 660人) 工学部 1,980人 農学部 692人 繊維学部 1,140人	学 部	人文学部 630人 教育学部 960人 (うち教員養成に係る分野 960人) 経済学部 (H28募集停止) 0人 経法学部 780人 理学部 828人 医学部 1,296人 (うち医師養成に係る分野 690人) 工学部 1,980人 農学部 692人 繊維学部 1,140人	
研 究 科	人文科学研究科 20人 (うち修士課程 20人) 教育学研究科 80人 (うち修士課程 40人 専門職学位課程 40人) 経済・社会政策科学研究科 32人 (うち修士課程 32人) 医学系研究科 256人 (うち修士課程 52人 博士課程 204人) 総合理工学研究科 1,150人	研 究 科	人文科学研究科 20人 (うち修士課程 20人) 教育学研究科 80人 (うち修士課程 40人 専門職学位課程 40人) 経済・社会政策科学研究科 32人 (うち修士課程 32人) 医学系研究科 52人 (うち修士課程 52人) 総合理工学研究科 1,150人	

	<p>総合工学系研究科</p> <p>(うち修士課程 1,150人) 147人</p> <p>(うち博士課程 147人)</p>		<p>総合工学系研究科(H30募集停止)</p> <p>(うち修士課程 1,150人) 0人</p> <p>(うち博士課程 0人)</p> <p>総合医理工学研究科</p> <p>355人</p> <p>(うち博士課程 355人)</p>	

国立大学法人信州大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
【中期目標】 別表1(学部、研究科等)		【中期目標】 別表1(学部、研究科等)		経済学部の収容定員が0となるため。
学 部	人文学部 教育学部 <u>経済学部 (H28募集停止)</u> 経法学部 理学部 医学部 工学部 農学部 繊維学部	学 部	人文学部 教育学部 <u>(削除)</u> 経法学部 理学部 医学部 工学部 農学部 繊維学部	
研 究 科	(省略)	研 究 科	(省略)	

国立大学法人信州大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>【中期目標】 別表2(教育関係共同利用拠点)</p> <p>中部高冷地域における農業・環境教育共同利用拠点－高冷地野菜，畜産と環境を組み合わせたフィールド教育－（信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター野辺山農場）</p> <p>南信州を舞台とした自然の成り立ちから山の生業までを学ぶ教育関係共同利用拠点（農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター演習林）</p>	<p>【中期目標】 別表2(教育関係共同利用拠点)</p> <p>中部高冷地域における農業・環境教育共同利用拠点－高冷地野菜，畜産と環境を組み合わせたフィールド教育－（信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター野辺山農場）</p> <p>信州を舞台とした自然の成り立ちから山の生業までを学ぶ教育関係共同利用拠点（農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター演習林）</p>	<p>信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター演習林について，平成31年4月1日から平成36年3月31日の期間，教育関係共同利用拠点として認定を受けたため。</p>

国立大学法人信州大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
【中期計画】 別表(収容定員)		【中期計画】 別表(収容定員)		経済学部 の収容定員が0となるため。
学部	人文学部 630人 教育学部 960人 (うち教員養成に係る分野 960人) 経済学部 (H28募集停止) 0人 経法学部 780人 理学部 828人 医学部 1,296人 (うち医師養成に係る分野 690人) 工学部 1,980人 農学部 692人 繊維学部 1,140人	学部	人文学部 630人 教育学部 960人 (うち教員養成に係る分野 960人) (削除) 経法学部 780人 理学部 828人 医学部 1,296人 (うち医師養成に係る分野 690人) 工学部 1,980人 農学部 692人 繊維学部 1,140人	
研究科	(省略)	研究科	(省略)	